

2025 年 11 月 21 日

令和 7 年度 VOL. 43

25 年目の春支度 “青の絶景” への第一歩がはじまりました

ネモフィラの種まきが始まりました

国営ひたち海浜公園の「みはらしの丘」では、11月17日（月）から“ネモフィラの種まき”が始まりました。今年はネモフィラの株がよりしっかりと育つよう、昨年より1週間早く作業を進めています。1年で最も華やかな季節を彩るネモフィラの絶景をお楽しみいただくために、丁寧に準備を進めています。種まき作業は、12月5日（金）頃までに完了する見込みです。



ネモフィラの種まきの様子 2025年11月17日撮影

◆約4.2haの広大な丘に、すべて手作業で種をまきます

「みはらしの丘」の約4.2haに約530万本となるネモフィラを咲かせるため、延べ80人程のスタッフが約2週間かけて種をまきます。ネモフィラの準備は、10月に「みはらしの丘」を赤く染め上げたコキアを抜き取るところから始まります。コキアを抜き取った後、丘を耕し、化成肥料を加えて土壌を整えます。その後、専用の道具を使って20cm間隔で目印となる線を引いていきます。この線は、ネモフィラが咲いた際の美しい見栄えを考慮し、引く方向にも工夫しています。



左：ネモフィラの種 右：ネモフィラの花

◆冬は白銀の世界が広がります

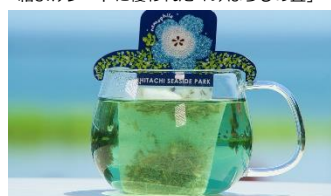
ネモフィラは種まき後10日から2週間ほどで芽を出し始めるので、発芽を確認した後は“霜よけシート”を設置します。霜よけシートは冬の低温からネモフィラを守るために設置するもので、約2m幅の白い帯状の不織布です。作業期間は約2週間となり、延べ180人程で隣同士のシートを重ね合わせながら張り、ピンで固定します。「みはらしの丘」一面が霜よけシートで覆われた様子は、まるで雪化粧をした様に真っ白なシートが広がる、本公園ならではの風景をお楽しみいただけます。



霜よけシートに覆われた「みはらしの丘」

◆今からでも楽しめる“ネモフィラグルメ”

ネモフィラといえば春のイメージですが、冬の季節にもネモフィラをモチーフにしたメニューをお楽しみいただけます。園内のカフェでは、ネモフィラの花色や爽やかな景色を思わせるドリンクや、散策後に嬉しいスイーツなど、季節を問わず味わえるオリジナルメニューをご用意しています。冬の落ち着いた園内で、ゆったりとした時間とともに、ネモフィラの魅力を感じられるひとときをお過ごしください。



ネモフィラブルーティー

Information

11月29日・30日は「海・花びっこサッカ
ー大会」を開催します。

公園公式SNSもご覧ください お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 服部・渡邊・石井



TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

<https://hitachikaihin.jp>